

増加する「移住の夢」 ビザの取得は狭き門

○(●●)○

コアラ社長の 夢の街マイアミ 不動産投資事情

50万ドルもの投資額となり、投資額としては安全圏にあるとの説明を移民弁護士よりいただいた。雇用している従業員も10人ほどだ。

先日東京のホテルで7時間にも及ぶビザ申請に関する打ち合わせを行った。ビザ書類は膨大な量となり、厚みは実に10センチ程度に及び、それが3冊にもなった。マイアミよりはるばる来日したジョン弁護士、日本駐在のラモス弁護士と通訳のケイトさん、現地で経営幹部として働く予定の寿司職人である清君と4人でビザ面接のための質疑応答練習も行われた。

ここ最近、テレビの影響なのかアメリカ、特にハワイへの移住を夢見て移住を希望する日本人が増加しているようだが、そんなに簡単なものではない。居住のためには何らかのビザ取得が必要である。ここ最近、アメリカへの移住の相談を受けることが多くなってきたが、特に家族を伴っての移住は狭き門と言っても過言ではない。現在大変取得が厳しいアメリカのビザであるが、近年においては比較的日本食レストランへの投資を行うことで取得の可能性が高いと言われている。

最も重要な「経験豊富な弁護士選び」

移民専門のジョン弁護士からは厳しい領事官という設定でこれまでのビザ取得の経緯やアメリカでの生活、仕事、今回のビジネスに関する計画などに関して鋭い質問を浴びせられた。戸惑いや考える隙なく即答しなくてはならないと何度も注意を受けた。通常、弁護士費用は1時間当たり400ドル前後のチャージがかかり、時間に比例してその費用も膨大なものとなる。しかし、これまでも相当なフィーを支払っているため、今回は旅費と宿泊費を負担するということで面接に関してはノーチャージとしてもらった。

E2ビザはアメリカ移民局を通さず、直接日本の領事館もしくは大使館に申請するため申請から面接までは比較的スピーディーな手続きとなる。

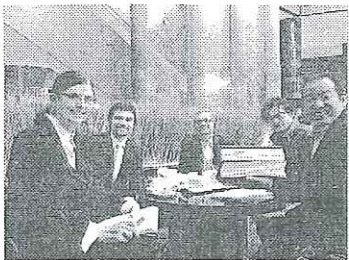
同居の家族も同時にビザ取得をすることができ、配偶者は就労することも可能だ。以前はE2ビザ保有者がグリーンカード

多ければ多いほど取得の可能性が高まると言われており、筆者の場合は営業中のレストランを32万ドルで購入し、店舗改装に12万ドル、会社売買やビジネスモデル作成、ビザ申請のために3人の弁護士依頼した弁護士費用で6万ドル。合計

年、米国民法改正により、ある一定の条件をクリアすればE2ビザ保有者がEB1という方法にてグリーンカード取得の申請をすることが可能となり、1年以内に取得できるケースもある。婚姻ビザでない限り、グリーンカード取得への道としてはこの方法が近道といえる。

しかし何といっても、豊富な経験を持ち信頼できる移民専門弁護士選びが最も重要である。

(小原隆浩)



移民弁護士チームとの面談